

平成 25 年度 第 3 回 富田林市総合計画フォローアップ会議 会議録概要

- ◆日 時：平成 25 年 12 月 25 日（水）（13：45～16：45）
- ◆場 所：富田林市役所 5階 介護認定審査会室
- ◆出席者：大西委員、前川委員、湯口委員、吉川委員（座長）  
事務局：谷口、塚本、北村

発言者	発言概要
事務局	<p>■過半数の委員の出席により会議が成立していることを報告。</p> <p>■傍聴人の確認 ⇒傍聴人なし。</p> <p>～座長による議事進行～</p> <p>■前回（第2回）会議の議事録の確認。 ⇒修正なし。</p> <p>■進捗状況の確認</p>
座長	<p>過去のフォローアップ会議では、主に「フォローアップの方法」について議論を行ってきたが、今年度の会議は、基本計画に示された「方向と目標」に沿った取組みがなされているか等の具体的な進捗確認を行うこととして、前回までの会議では、基本計画第1章についての総括的な確認と、基本計画第2章の一部について確認を行った。</p> <p>本日は、第2回会議に引き続き、基本計画第2章について、事務事業評価表を活用した総合計画の進捗確認と、今年度フォローアップ会議報告書について議論を行いたい。</p> <p>また、本日の会議進捗状況により、第4回会議を開催するかどうかについて決める必要がある。</p> <p>では、事務局から事務事業評価表の説明をお願いします。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業評価表の見方説明（確認）</li> <li>・第6節第1項「防犯対策事業」の概要説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業目的：「防犯意識の向上」</li> <li>成果指標：「犯罪発生件数」</li> <li>活動指標：「防犯教室参加人数」</li> </ul> </li> </ul> <p>総合計画書108～109ページ「危機管理の行き届いたまちづくり」の「方向と目標」にある「市民一人ひとりの危機管理への意識が高まり～」といった目標に向かって行われている事業。</p>

	<p>防犯教室の他では、防犯委員を中心とした街頭キャンペーン等の啓発活動を行っている。</p>
座長	<p>成果指標が、他の要因に左右される数値であるため、活動指標と直接結びつきにくい。適切な設定ではないだろうか。</p> <p>この事務事業評価表をもって、どう進捗を確認するかは難しい部分もあるが、こうして説明を受けることで、市民は行政の施策を知り、行政はそれが市民の目にどのように映るかを知ることが大切であると思う。</p>
委員	<p>防犯教室はどういったところで開催されているのか。</p>
事務局	<p>小学校や自治会等で開催されている。開催回数については19回で、各種数値データ一覧表（資料4）の10ページにも記載している。</p>
委員	<p>小学校で行う防犯教室と自治会で行う防犯教室では、1回あたりの参加人数も違い、質が違うように思う。どちらが重要ということではなく、単純に参加人数で表現するよりも中身が重要ではないかと思う。</p> <p>例えば、平成24年度の活動指標予定（目標）値は1,250人とあるが、これは小学校で児童400人が参加し、3回実施すれば、目標値をある程度クリアできることを考えると、この事務事業評価表の「見直し実績」欄や「評価」欄だけでは判断しにくいと感じる。</p> <p>また、犯罪発生件数についても同様で、軽犯罪や重犯罪、犯罪傾向、年代等があり、別途分析されていると思うが、それが事務事業評価表に表れていないのはもったいないと思う。</p>
座長	<p>自らで正確に評価すべきであるのはもちろんのこと、もう少し分析的発想で「評価」欄が書かれており、それを指標に反映できれば、行政にとって、よりよい事務事業評価になるのではないかと思う。</p>
委員	<p>犯罪傾向や対策についてはどうか。</p>
事務局	<p>犯罪傾向や対策の分析は、基本的には警察の管轄となっているため、警察と市が連携して防犯教室を実施することで、市民の防犯意識が高まり、それが犯罪予防に繋がりと、犯罪件数の減少といった数値に表れると、担当課は分析しているものと思われる。</p>
委員	<p>成果指標「犯罪発生件数」の目標数値の妥当性については、富田林市の人口規模での犯罪発生件数がどうであるか等、他のデータと比較して書かれていればわかりやすいのではないか。</p>
事務局	<p>データでの比較という点では、富田林警察署管内の犯罪発生件数が平成17年度当時約3,000件（総合計画書108ページ）に対して、事務事業評価当初の成果指</p>

	<p>標設定では平成28年度には2,500件程度に減少させることを目標としているが、平成24年度の実績値は1,899件となっており、他の要因もあるため一概には言えないが、目標値よりも大幅に減少していると見て取れる。</p>
座長	<p>防犯対策事業全体的にイベント型の取組みが多い印象を受けたので、経常的に防犯意識を高めるような取組みがあっても良いのではないかと思われる。</p> <p>本会議としてはこれらの意見を、新たな視点や、今後工夫できる部分のヒントにしていただければと思う。</p> <p>「危機管理の行き届いたまちづくり」の施策に関連して、防災対策について聞きたい。</p>
事務局	<p>地域防災計画の改定やハザードマップ作成、公共施設の耐震工事等、重点施策と位置づけて実施している。</p>
委員	<p>市が指定避難所に防災備品等を備蓄しているが、その内容を知っていなければ活用できないということで、担当課に防災備品の中身を全て説明していただいたことがあったが、それが大変良かった。</p> <p>また、同時に自分たちで備えておくことの必要性もわかり、知ることは大切であると感じた。</p>
事務局	<p>・第6節第2項「道路維持補修事業」の概要説明</p> <p>事業目的：「交通安全の確保」</p> <p>成果指標：「市民アンケートにおける交通安全対策の満足度」</p> <p>活動指標：「①道路維持改良工事延長」「②道路維持改良工事箇所」</p> <p>総合計画書114～115ページ「安心して移動できるまちづくり」の「方向と目標」にある「道路や公共交通のバリアフリー化や安全対策～」といった目標に向かって行われている事業。</p>
座長	<p>道路工事のように部分的に行われるものが、市全体のアンケートに評価が表れるとは考えにくく、この指標設定が誤っているということではなく、成果指標設定そのものの難しさを感じる。</p>
委員	<p>市民意識として感じる交通安全対策は、工事等の情報提供による部分も大きいと思われる。</p>
座長	<p>道路は多様な役割を持つものであることから、事務事業評価においても、市全体の道路政策的な視点が担当課から出てくるようなしくみが必要と考える。</p>
事務局	<p>担当課からは、市道全体をより計画的に維持管理していきたいという希望は聞いている。また、他事業で市交通会議を設置し、交通政策も実施している。</p>

委員	市民は、インフラ整備等を市に負託しているのだが、行政がどんなことをしているのかを、市民も知らなければならないと思う。
座長	基本計画第1章第2節には「行政職員の市民意識の理解を促すしくみづくり」とあるが、本来は市民と行政の相互理解が必要であると思われる。
委員	行政の活動を、市民に具体的に「見える化」して、情報発信し、ともに実施していくことが大切だと感じる。 事務事業評価表についても、少しわかりにくい表現もあるように思える。
事務局	事務事業評価表は、担当部署における事務改善を目的に活用していることが要因と考えられる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6節第3項「(仮称)若松地区公共施設再整備事業」の概要説明</li> <li>事業目的：「快適な居住空間の創出」</li> <li>成果指標：「市営住宅、公共施設の建替棟数」</li> <li>活動指標：「①耐震性の低い施設の建替棟数」「②老朽化施設の建替棟数」</li> </ul> <p>総合計画書120～121ページ「富田林らしい都市空間づくり」の「方向と目標」にある「生活ニーズに対応した、質の高い都市空間の形成～」といった方向に沿って行われている事業。</p> <p>「若松地区再整備基本構想」に基づき、老朽化した公共施設の建替を含め地区として一体的に再整備している。</p>
委員	指標は、各種数値データ一覧表(資料4)の全市営住宅戸数と割合を比較できるように戸数であってもいいのではないかと思われる。 「富田林らしい都市空間づくり」の施策に関連して、富田林駅前整備事業によって何が変わったか聞きたい。
事務局	歩道が確保され、駅前広場の安全性が格段に増している。
委員	駅前整備事業に伴って、寺内町で駅前の賑わい再生が進んでいると感じているが、イベント開催日が重複していることがあり、市内部での連携の必要性も感じる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第7節第1項「下排水路管理事業」の概要説明</li> <li>事業目的：「清潔で安全な下排水路の維持」</li> <li>成果指標：設定できない(一般下排水路等の生活基盤の充実の満足度が考えられるが、満足度をはかるアンケート等がない)</li> <li>活動指標：「原材料費を含む工事件数」</li> </ul>

	<p>総合計画書 128～129ページ「農業の活性化と農を生かしたまちづくり」の「方向と目標」にある「農を生かしたまちづくり～」といった方向に沿って行われている事業。</p> <p>農業用水路と一般下排水路を兼ねた水路の維持管理を行っているもの。</p>
座長	<p>前回の会議では、成果指標は代表性が大切だという議論をしたところだが、成果指標設定は、何を目的に事業実施しているかが重要であり、完全に代表的なものとなっていないなくとも、目標としているものを記載すれば良いのではないかと感じる。</p>
委員	<p>指標設定に政策推進課が積極的に関わることはできないのか。</p>
事務局	<p>これまでも成果指標設定マニュアルの発行や、適宜ヒアリング等を実施している。また、アンケート等で市民ニーズや評価を適切に把握することは、市政運営において重要な視点であると感じている。</p>
委員	<p>市民アンケートの結果を成果指標に設定するのは無理があると思われる。市民は事業評価の成果指標に使われていることを知らずに答えている。</p>
座長	<p>よりよい成果指標設定に向けて、実現性のある対応としては、ポリシーを再確認し、柔軟に成果指標できるようマニュアルを常に整理しておくことかと思う。</p>
委員	<p>成果指標設定に関しては、設定のプロセスがわかるようになることも有益ではないかと思う。</p> <p>誰しも、自分が長くやってきたことを変えたくないものだが、そこが変わらないと地域は変わっていかないと考える。</p> <p>フォローアップ会議として、事務事業評価というしくみが出来たことは評価するが、次に、これを行政と市民が、どのように活かしていけるのかが重要と感じている。</p>
座長	<p>事務事業評価は本質的なものとして、公開していくことも検討していただければと思う。</p>
委員	<p>公開されたものを見た市民と行政とのやりとりが、地域の活性化に繋がるのではないかと思う。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第7節第2項「商業活性化総合支援事業」の概要説明</li> <li>事業目的：「商店会等の活性化」</li> <li>成果指標：「商業活性化総合支援事業および商業活性化プロジェクト事業実施団体数」</li> <li>活動指標：「①補助件数」「②補助金額」</li> </ul> <p>総合計画書 132～133ページ「地域に根ざす商工業の活性化」の「方向と目標」</p>

	<p>にある「人々が集う魅力ある環境が形成されています」といった目標に向かって実施している事業。</p> <p>成果指標の「商業活性化総合支援事業」「商業活性化プロジェクト事業」は商店会等活性化への補助事業であり、利用件数がない「商業活性化プロジェクト事業」は見直しを検討している。</p>
委員	<p>商工業の活性化は重要な課題だと思うのだが、平成24年度予算は5,440千円であり、各種数値データ一覧表（資料4）11ページを見ても、商工業の活性化を計るようなデータも見受けられないが。</p>
事務局	<p>予算額5,440千円は、今回事務事業評価表で点検していただいている「商業活性化総合支援事業」のみの予算額であり、「商工業経営の活性化」施策全体では、この事業以外にも、平成24年度事務事業の施策別分類（資料8）9ページを見ていただければ「商工業団体育成事業」や「中小企業融資事業」「伝統工芸品振興補助事業」等を実施していることが確認いただけるかと思う。</p>
座長	<p>事務事業評価の意義は、目標設定をして事業実施することであり、それによって「商業活性化プロジェクト事業」を見直す必要があることの気づきに繋がったのであれば、意味のあることであり、評価できるものと思う。</p>
事務局	<p>・第7節第3項「観光振興事業」の概要説明  事業目的：「観光客の誘致」  成果指標：「観光入り込み客数（市内の主な観光施設利用者数）」  活動指標：「観光案内所の来訪者数」</p> <p>総合計画書138～139ページ「魅力ある資源と交流のまちづくり」の「方向と目標」にある「富田林を大切に思い、魅力を感じる人々が富田林の内外を問わず増えています」といった目標に向かって行われている事業。</p>
委員	<p>寺内町への日帰りツアーのチラシを見たが、あれは民間事業者とタイアップした事業か。</p>
事務局	<p>寺内町は最近、雑誌等で取り上げられることも多く、そのツアーが、市が関与したものかは不明だが、民間事業者と連携した事業は実施しているものと思われる。</p>
委員	<p>ツアー客は、この成果指標の人数には含まれないのか。</p>
事務局	<p>成果指標は各施設への来訪者数の合計のため、ツアー客だけを除外しカウントすることはない。</p>
委員	<p>寺内町のある2施設の来訪者を別々にカウントしているようだが、どちらか一方だ</p>

	<p>けでの計上とするべきではないか。</p>
事務局	<p>予定（目標）設定において、あらかじめ2施設分を計上しているので問題ないもの と考える。</p>
委員	<p>かつて総合計画審議会で、観光事業の成果指標は、近鉄電車の乗降客数としていた こともあった。 今の議論のようなことを、政策推進課が担当課と話し合い、よりよい成果指標とし ていく作業が大切なのではないかと思う。 また、市域にこだわりすぎないことも、地域振興には必要ではないだろうかとも感 じている。</p>
	<p>～ 休憩 ～</p>
座長	<p>引き続き、事務局に説明をお願いします。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li> <p>・第1節第1項「平和のつどい」の概要説明 事業目的：「平和な世の中をめざす」 成果指標：「戦争展入場者数」 活動指標：設定できない</p> <p>総合計画書40～41ページ「平和を希求する多文化共生のまちづくり」の「方向 と目標」にある「平和を希求する市民が増えています」といった目標に向かって行わ れている事業。</p> </li> <li> <p>・第1節第2項「人権文化センター事業（講座事業）」の概要説明 事業目的：「地域内外の人々の交流による人権意識の向上」 成果指標：「講座受講者数」 活動指標：「開催講座回数」</p> <p>総合計画書44～45ページ「だれもが平等で尊重されるまちづくり」の「方向と 目標」にある「人権が尊重されるまち」といった目標に向かって行われている事業。 講座の開催を通して、人々の交流を促進し、人権尊重意識が深まるという趣旨とな っている。</p> </li> <li> <p>・第1節第3項「男女共同参画推進事務」の概要説明 事業目的：「男女共同参画社会の実現」 成果指標：「男女共同参画センター利用率」 活動指標：「①女性の悩み相談延べ利用者数」「②男女共同参加リーダー養成講座 によるリーダー育成数（修了生延べ人数）」「③男女共同参画センタ ー内蔵書数」</p> </li> </ul>

	<p>総合計画書48～49ページ「男女共同参画社会の形成」の「方向と目標」にある「性別に関わらず、個性と能力を發揮することができる男女共同参画社会の形成」といった方向に沿って行われている事業。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第2節第1項「広報誌発行事業」の概要説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業目的：「情報提供の推進」</li> <li>成果指標：設定できない</li> <li>活動指標：「広報の配布部数」</li> </ul> </li> </ul> <p>総合計画書52～53ページ「情報公開の推進」の「方向と目標」にある「より多くの行政情報がわかりやすく整理され積極的に提供されている～」といった目標に向かって行われている事業。</p> <p>広告収入によってコスト面での工夫も行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第2節第2項「小学校耐震及び補強事業」の概要説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業目的：「耐震性能の確保」</li> <li>成果指標：「耐震化率」</li> <li>活動指標：「事業費」</li> </ul> </li> </ul> <p>総合計画書56～57ページ「市民本位の行財政運営の推進」の「方向と目標」にある「効率的で効果的な行財政運営」といった目標に向かって行われている事業。</p> <p>順調に進捗しており、目標どおり平成26年度に耐震化率100%となる予定。</p> <p>委員 平成27年度以降の予定はあるのか</p> <p>事務局 非構造部材の耐震化について検討していきたいという担当課の希望は聞いている。</p> <p>座長 「市民本位の行財政運営の推進」施策に位置付けるのは違和感がないか。</p> <p>事務局 建替えではなく、耐震化し、長く施設を使っていくことが効率的な行財政運営に繋がるとの視点で、公共施設の耐震や更新は基本的にはこの施策に位置付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第3節第1項「保育所職員研修事業」の概要説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業目的：「保育職の質の確保と向上」</li> <li>成果指標：「研修参加率」</li> <li>活動指標：「対象者数」</li> </ul> </li> </ul> <p>総合計画書62～63ページ「将来のまちを担う、次世代を育む環境づくり」の「方向と目標」にある「子どもたちが健やかな成長する環境づくり」といった方向に沿って行われている事業。</p>
--	--



<p>座長</p> <p>事務局</p>	<p>公立だけではなく、民間の保育士等も対象とした事業であるため、単に研修回数ではなく、研修の対象となる人に研修情報を周知することを目標に、活動指標は対象者数としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3節第2項「生涯学習推進事業」の概要説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業目的：「行政が実施する各事業に対する住民の理解度を深める」</li> <li>成果指標：「講座参加者」</li> <li>活動指標：「講座実施回数」</li> </ul> </li> </ul> <p>総合計画書68～69ページ「生涯にわたって学べる環境づくり」の「方向と目標」にある「自らの興味や関心に応じて学習する市民が増えています」といった目標に向かって行われている事業。</p> <p>平成24年度に予定（目標）数値を大幅に上回っている要因は何か。</p> <p>事業の認知が進んでいることによるものだと考える。</p>
<p>座長</p> <p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4節第1項「救急救命士の育成事業」の概要説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業目的：「救急業務の高度化」</li> <li>成果指標：設定できない（救急率や社会復帰率などの設定が考えられるが、対象者の絞り込みが困難なため設定できず。）</li> <li>活動指標：「救急救命士養成人数」</li> </ul> </li> </ul> <p>総合計画書74～75ページ「身近な医療体制づくり」の「方向と目標」にある「緊急時などでも病気やけがなどに的確に対応できるような救急医療体制が整っています」といった目標に向かって行われている事業。</p> <p>「救急医療の充実」施策に関連して、AED設置について聞きたい。</p> <p>AED使用講習の他、地域の集会所等に設置補助する事業等も実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4節第2項「がん予防対策事業」の概要説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業目的：「健康についての認識と自覚の高揚」</li> <li>成果指標：「がん検診受診率（胃・肺・大腸・子宮・乳）」</li> <li>活動指標：「①胃・肺・大腸がん検診受診人数」「②子宮がん検診受診人数」「③乳がん検診受診人数」</li> </ul> </li> </ul> <p>総合計画書78～79ページ「地域ぐるみの健康づくり」の「方向と目標」にある「市民の健康寿命が延びています」といった目標に向かって行われている事業。</p> <p>事業評価表での成果指標予定（目標）値は達成しているが、国は受診率50%を目標としており、集団検診を個別検診に変更する等の努力を続けている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4節第3項「地域生活支援事業」の概要説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業目的：「障がい児者が安心して充実した地域生活を可能とする」</li> <li>成果指標：「市障がい福祉計画の移動支援の見込み量の達成」</li> <li>活動指標：「利用者数」</li> </ul> </li> </ul> <p>総合計画書82～83ページ「みんなで支えあう福祉のコミュニティづくり」の「方向と目標」にある「多様なサービスを自ら選択、利用し、住み慣れた地域で、支え合い、助け合い、その人らしい生活を営めるような環境を形成します」といった方向に沿って行われている事業。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4節第4項「保健事業（特定健康診査）」の概要説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業目的：「医療費の削減」</li> <li>成果指標：「特定健康診査の受診率」</li> <li>活動指標：「受診率等の向上のための取り組みの回数（広報誌等での啓発活動）」</li> </ul> </li> </ul> <p>総合計画書88～89ページ「生活自立のための支援体制づくり」の「方向と目標」にある「社会保障制度のもと、市民の相互扶助により、安心して暮らせる環境が整っています」といった目標に向かって行われている事業。</p>
座長	<p>これで全19事業の事務事業について進捗確認したことになるが、時間の都合上質問等があれば、次回の会議でお願いしたいがどうか。</p> <p>（意義なしの声あり）</p> <p>では、第2の議題である「今年度フォローアップ会議報告書」に移りたい。</p> <p>あらかじめ、事務局へ第1回・第2回会議の議論を踏まえた報告書（たたき台）の作成を依頼していたが、「報告書（たたき台）」の配布と説明をお願いします。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「報告書（たたき台）」の概要説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>「今年度のフォローアップ会議のあり方」については、これまでの評価の継続に加え、計画が後半に入ったことを踏まえて、計画全体を捉えての進捗確認といった視点を持ってフォローアップが行われた旨を記載させていただいている。</li> <li>「進捗状況の評価」については、基本計画第1章と第2章に分けており、第1章については、フォローアップシート①を中心に点検していただいた結果、計画の方向性に沿った取り組み数が増えていること、今後も市民と行政が、それぞれ発想の転換に努めるためにも効果的なフィードバックが必要であるとのご意見を記載させていただいている。</li> <li>第2章については、より総合的な視点で進捗を確認するため、点検する事業数を増やし、広い視点で点検が行われた旨と、また、第2章の取り組みが進んでいくためには、各事業が計画に示された方向と目標に沿って進んでいるのか、事務事業評価を適切に行いながら事業実施しているのか、といった部分が重要であり、その点を踏まえた点検が行われた旨を記載させていただいている。</li> </ul> </li> </ul>

<p>座長</p>	<p>「取組みの状況」「評価と課題」については、これまでの会議や、本日の会議内容を反映させる部分であるので、報告書に盛り込むべき内容について、他の部分も含めて、ご議論いただきたい。</p> <p>本日の進捗状況からみて、前回会議で日程調整した、平成26年1月22日（水）に、第4回会議を実施することとしたいがよいか。</p> <p>（意義なしの声あり）</p> <p>次回会議までに、報告書作成に関する意見を、各自事務局に伝えた上で、次回会議で意見を出し合いながら、報告書としてまとめたい。</p> <p>第4回会議の日程確認と第5回（市長報告）の日程を事務局から連絡する旨確認して終了。</p> <p>（第4回：平成26年1月22日（火）午後1時30分～）</p> <p>（第5回：平成26年2月17日（月）午後2時00分～）</p>
-----------	--